



# 給食だより

柳瀬小学校  
栄養教諭：西澤

新年を迎え、気持ちも新たに3学期が始まりました。冬休み中に生活リズムが乱れてしまった人はいませんか。寒くて起きるのがつらい時期ですが、早寝・早起きをして、朝ごはんを食べて元気に登校しましょう。3学期の給食も楽しみにしててくださいね。

## ■1月は、リクエスト給食で1位になった給食が登場します！



10月に給食委員会が主体となって、柳瀬小のリクエスト給食に関するアンケートを実施しました。あらかじめ、給食委員会で項目や献立を絞り、主食、おかず、サラダ、汁物、飲み物、デザートの中からそれぞれ、1位を決めました。その結果がこちらです。

主食部門	ココア揚げパン	おかず部門	じゃがまるくん
サラダ部門	パリパリサラダ	汁物部門	ABC スープ
飲み物部門	コーヒー牛乳	デザート部門	たい焼きアイス

惜しくも1位を逃しましたが、納豆和えや若獅子カレー、ほうじ茶プリンなども大人気でした。アンケートの時間にクラスをのぞいてみると、毎日の給食を味わって食べてくれている様子が伝わってきて嬉しく感じました。1月の給食も楽しみにしててください。

## ■1月24日～30日までの1週間は「全国学校給食週間」です！

給食は明治22年、山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、お弁当を持ってこられない子どもに昼食を食べさせたのが始まりといわれています。学校給食は戦争により、中断されましたが、ラウ物資やユニセフから給食物資が寄贈され、昭和21年12月24日に給食が再開されました。この日が冬休みなので、1か月後の1月24日を給食記念日としました。また、1月24日～30日までを「全国学校給食週間」として今に至っています。



### ～給食の歴史～

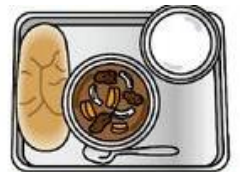
#### 昭和22年頃：トマトシチュー、ミルク



第2次世界大戦後、米国のアジア救済公認団体（LARA）やユニセフから送られてきた支援物資により給食が再開されました。ミルクは牛乳から脂肪分を取り除いて乾燥させた「脱脂粉乳」をお湯で溶いたもので、独特な風味で苦手な子どもが多かったようです。

#### 昭和25年頃：コッペパン、ミルク、カレーシチュー

アメリカから寄贈された小麦粉を使い、パン、ミルク、おかずのそろった「完全給食」が始まりました。おかずには、当時は安価だったクジラ肉やちくわがよく使われていました。



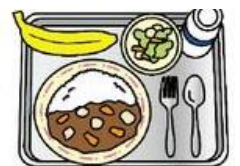
#### 昭和40年頃：ソフトめん、五目あんかけ、牛乳、甘酢和え、みかん



パン以外の主食として昭和38年頃からソフトめん（ソフトスパゲッティ式めん）が導入されました。牛乳は昭和33年から一部地域で供給され、昭和39年に本格的な供給が始まりました。

#### 昭和51年頃：カレーライス、牛乳、サラダ、バナナ

昭和51年に米飯（ごはん）が正式に導入されました。当時はご飯を炊く設備がない所が多く、おかずを作る釜で、ご飯とおかずの両方を調理するため、品数は多くありませんでした。



#### 現在



現在は米飯を中心とした和食の献立を基本に郷土料理や行事食を提供しています。そして、食事の提供だけでなく、栄養バランスや地域の食文化、食べ物への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための生きた教材として活用しており、食育としての役割も担っています。給食が栄養バランスの整った1食分の食事の例として、みなさんの記憶に残り続けてくれたら嬉しいです。